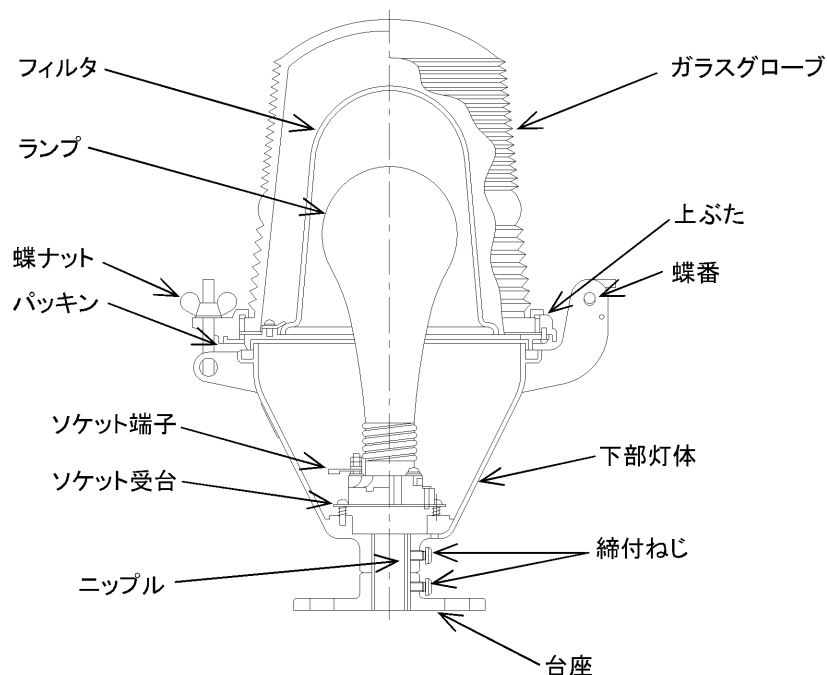


対象機種

OM-7型(OM-7)

このたびは東芝低光度航空障害灯(OM-7型)をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの商品を正しく施工・ご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、必ず保管してください。

各部のなまえ



お願い

施工、ご使用の前に「納入仕様書および図面」、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく施工、ご使用ください。

- 本灯器に供給する電源は航空障害灯用回路のAC100Vを使用してください。
- 運搬、移動、取付時に衝撃や過大な力を加えないでください。
破損することがあります。
- 補修部品の電球、フィルター、ガラスグローブは東芝専用品を使用してください。

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元においてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危 険

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注 意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は危険を促す内容があることをつけるものです。図のなかに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることをつけるものです。図のなかに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることをつけるものです。図のなかや近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



危 険

[据付、設置、接続にあたっての注意]

- この機器の取り付けは高所作業となりますので、設置は高所作業の経験のある方か有資格者に依頼してください。



- 照明器具の電気工事は、主任電気工事士の管理が義務付けられています。



- 航空法、内線規定等の法律を遵守して、正しい設置、工事を行ってください。





危 険

- 取扱説明書に従って正しい配線、結線工事をしてください。
誤結線があると火災、感電、故障の原因となります。



- 配線は適合した電線、プラグ、圧着端子を使い、確実に締め付けてください。
締め付けがゆるいと火災の原因となります。



- コンクリート、鋼板等の堅牢な土台に設置してください。
土台が堅牢でないと、強い雨風、振動等で機器がはずれ、
落下する恐れがあり、大変危険です。



- この機器は必ず正立して取り付けてください。横取付けや逆さ取付けはしないでください。
機器の嵌合部分や取付部分に無理な力が加わり、防水性能の劣化や機器固定のゆるみの
原因となり、感電や機器落下の恐れがあり、大変危険です。



- 機器本体に通線孔をあける等の加工はしないでください。
防水性能や機器本体強度の劣化の原因となり、強い雨風や振動により、感電や機器落下の
恐れがあり、大変危険です。



- この機器は改造しないでください。
無断で改造したことにより生じた事故については一切責任を負いません。





危 険

[使うときの注意]

- 万一、煙が出ている、異常な音がするなどの異常状態が発生したら、この機器への電源を「断」にして納入したメーカーに修理を依頼してください。
異常状態のまま使用すると大変危険です。



- ランプ点灯時および消灯直後は高温になっていますので、点灯時および消灯直後は機器に触れないでください。
やけどの恐れがあります。



- 灯体のグローブやランプが破損したときは、素手で触れないでください。
けがの原因となります。



[お手入れ、保守、点検にあたっての注意]

- この機器の清掃や点検、ランプの交換時は、本機への電源を「断」して行なってください。
機器本体は動作時、放熱のため高温になっていますので、触るとやけどの恐れがあります。
また、通電状態でのランプ交換作業は感電の恐れがあり、大変危険です。



- ランプ交換後は、蝶ナットをしっかり止めてください。
固定がゆるいと、強い雨風や振動で、落下する恐れがあり大変危険です。



- お手入れ、点検やランプ交換時に、この機器に無理な力を加えないでください。
機器の嵌合部分や取付部分に無理な力が加わり、機器落下の恐れがあり大変危険です。





注 意

[据付、設置、接続にあたっての注意]

- 密閉した空間に設置する場合は、必ず納入したメーカーにご相談ください。この機器は動作中に熱が発生しますので、定められた性能を発揮するためには、放熱が必要です。また光の透過する部分(窓など)も所定の透過性能が要求されます。



- この機器のアース端子は接地してください。
ガス管にアースすると危険ですから絶対におやめください。



- この機器への途中の配線は屋外に露出しないようにしてください。
屋外に露出していると、鳥などに食われ、芯線が露出して地絡や感電の恐れがあります。



- この機器への配線は、高圧放電灯(水銀ランプ、メタルハライドランプ等)などノイズを発生する器具の配線とは離して配線してください。
ゆらぎの原因となります。



- 灯体内部に水が入ったり、濡らさないように注意してください。
感電、故障の原因となります。
万一、水が入った場合、柔らかい布などでふきとり十分乾燥させてください。



- 本機をぐらついた台の上に置いたり、灯体のみの段積みはやめてください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



[お手入れ、点検、保守についての注意]

- ランプは必ず指定のランプと交換してください。
指定以外のランプを使用すると機器の故障の原因となります。



- 濡れた手で充電部またはランプなどに触れないでください。
感電、故障の原因となります。



- 給電中にプラグやランプを外さないでください。
アークが発生し、感電、故障の原因となります。





注 意

- 寿命時間となり点灯動作しなくなったら、すぐにランプ交換をしてください。
点灯しない状態での放置はおやめください。



- 内外部リード線が傷んだら（断線、芯線の露出など）。交換してください。
そのまま使用すると感電、火災の原因になります。



- 雷が鳴っている時の点検やランプの交換はしないでください。
感電の原因となります。



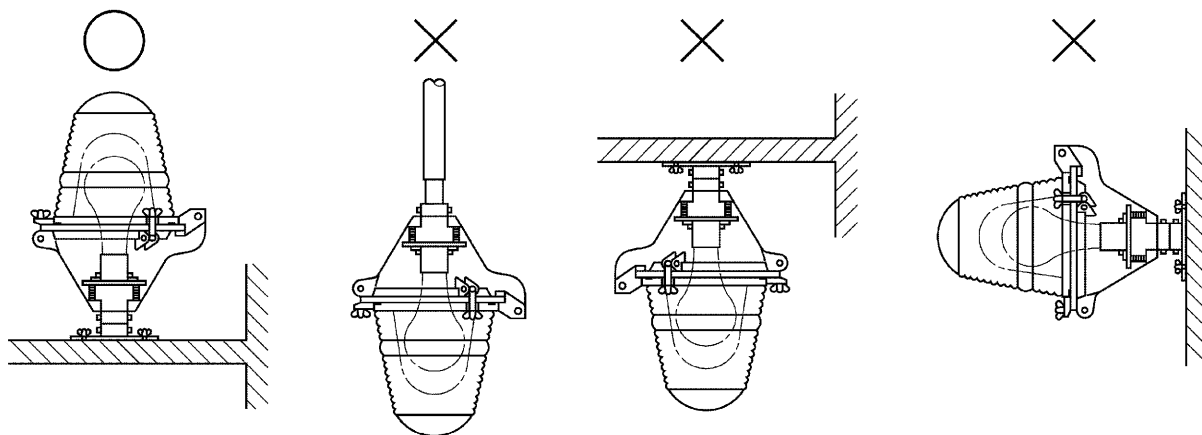
- 雨天時のランプの交換はしないでください。
内部に水が浸入しますと故障の原因となります。



設置のしかた

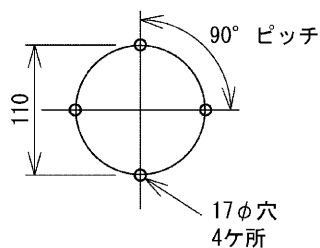
設置にあたってのご注意

- 本灯器の取付は○印のようにガラスグローブを上にして鉛直に取り付けてください。
それ以外の状態で取り付けると、航空障害灯としての機能を損ない、また危険ですのでおやめください。



設置の方法

- パイプに取り付ける場合
 - ・ 台座を取り外し、下部灯体にパイプを取り付けます。
 - ・ パイプの先端は約35mmの範囲でねじ加工（管用平行ねじ加工）してください。
 - ・ 本灯器の下部灯体（台座取付部）にG28の管用平行ねじG(PF)1がきってあります。
このねじ部にパイプ（G28の厚鋼電線管）をしっかりとねじこんでください。
 - ・ ねじこんだ後、支持台の押しねじ（2個）を締め付けて固定してください。
- 架台などに取り付ける場合
 - ・ 台座を使用して取り付けます。
 - ・ 台座を取り付ける部材は、本灯器の質量や風圧に耐える部材としてください。
 - ・ 取付台座は直径17mmの穴4個を使用し、風速60m/秒に耐えるために、M14のステンレス（SUS）ボルトで確実に固定してください。



取付台座の取付穴図

- ・ 取付台座の下部に種々のボックス等を使用して配線・結線する場合は、必ず防水構造となるようにシールしてください。

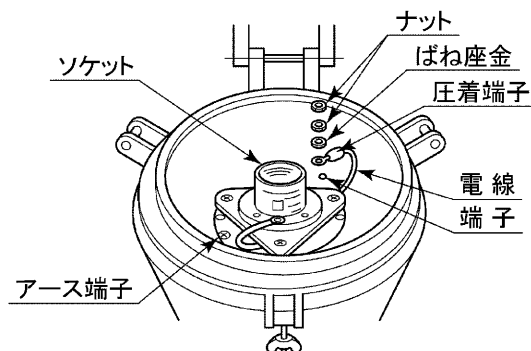
接続のしかた

配線のしかた

- 上ぶたと下部灯体を固定している箇所の蝶ナットをゆるめてください。
- 上ぶたを持ち上げるようにして蝶番側に開けてください。
- 電線を下部灯体とソケット受台の間より引き出してください。

電線先端に付属の圧着端子を取り付け、ソケット端子台、およびアース端子にしっかりとねじ止めし、固定してください。

なお、ソケット受台をはずしますと、ランプの位置が変わり、規定の配光分布（明るさ）になりませんので、ランプ受台ははずさないでください。



電球の取付・組立

- ソケット内に異物が入っていないことを確認してから、電球を確実にソケットにねじこんでください。
- ソケットはスプリングにより固定されていますので電球をねじこんだり、はずすときは動きますが支障ありません。
- 配線と電球の取付が終わりましたら、パッキン部分のゴミ等を取り除いてから、上ぶたと下部灯体を蝶ナットで確実に締め付けてください。

締め付けが不完全ですと、浸水や風圧により支障をきたすことがあります。

設置・接続が終わったら

点灯前の確認

点灯する前に次の事項を再度確認してください。

- 本灯器の取付ボルト、ナットの締め付けにゆるみがないか。
- 台座またはパイプのねじこみが不完全でないか。
- 蝶ナットの締め付けが不完全でないか。
- 本灯器の取付全体にガタがないか。

点灯確認

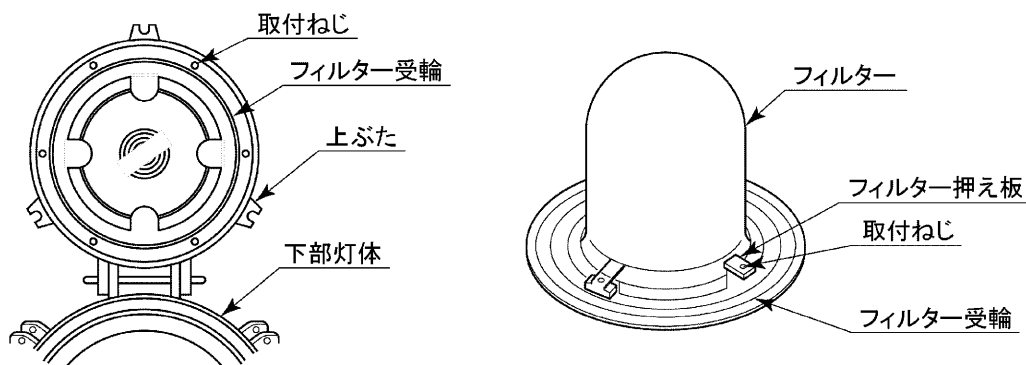
制御盤を操作して、本灯器へ電源を供給してください。

本灯器の電球が確実に点灯していることを確認してください。

保守点検のしかた

フィルターの交換

- 上ぶたと下部灯体を固定している3箇所の蝶ナットをゆるめてください。
- 上ぶたを持ち上げるようにして蝶番側に開けて、上ぶた内部のフィルター受輪を固定している取付ねじ6本をはずしてください。
- 上ぶたから、フィルター受輪、ガラスグローブの順で抜き取り、交換してください。
なお、フィルターは図のようにフィルター受輪に4枚のフィルター押さえ板で固定していますのでそれをゆるめて交換してください。



電球の交換

- 制御盤を操作して本灯器への電源供給を断にしてください。
- 本灯器の上ぶたを固定している3箇所の蝶ナットをゆるめて上蓋を開き、新しい電球と交換してください。
新しい電球は確実にねじこんでください。
- 交換が終わりましたら、パッキン部分のゴミ等を取り除いてから、上ぶたと下部灯体を蝶ナットで確実に締め付けてください。
締め付けが不完全ですと、浸水や風圧により支障をきたすことがあります。
- 制御盤を操作し本灯器へ電源を供給して、点灯することを確認してください。

定期的な点検とお手入れ

安全にご使用いただくために、定期的に次の点検を行ってください。

- 本灯器に汚れ、破損がないか確認してください。
灯器が汚れている場合には、中性洗剤を浸した柔らかい布で拭き取ってください。
シンナーやベンジンは使用しないでください。
- 本灯器にガタがないか確認してください。
万一、ガタがある場合は、固定用のボルト、ナット、ねじを再度締め付けてください。

補修部品

- | | | |
|-----------|---------------------------|-----------------------|
| ● 電 球 | 東芝投光器用電球 PR100V500WPS E39 | (品名:PR100V500WPS E39) |
| ● フィルター | 東芝OM-7型航空障害灯用赤フィルター | (品名:OM-7-FIRTER-R) |
| ● ガラスグローブ | 東芝OM-7型航空障害灯用ガラスグローブ | (品名:OM-7-GLOBE) |

仕様

定格入力電圧	AC100V（50／60Hz共用）
消費電力	500W
材質	灯 体：アルミニウム合金鋳物 台 座：アルミニウム合金鋳物 グローブ：硬質ガラス
塗装色	航空黄赤色
質量	約8.5kg
電 球	投光器用電球 PR100V500WPS E39

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

フリーダイヤル



0120-66-1048

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・PHSなど 046-861-6485（通話料：有料）

FAX 0570-000-661（通信料：有料）

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
 - ・但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器（インバータバラスト含む）については3年間です。
 - ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

日本国内専用

Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

施設・屋外照明部 特機システム担当 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34

TEL(044)331-7563 FAX(044)548-9604

0050030I